

来週の「売り物」記事はこれ



2014年3月28日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

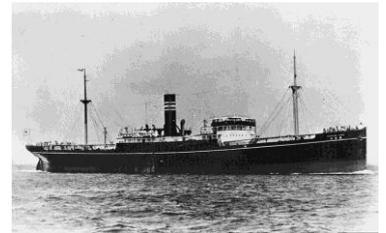
学童疎開船の悲劇から 70年

「対馬丸」最後の証言

30日（日）



「対馬丸の悲劇」をご存じでしょうか。沖縄から疎開する小学生たちを乗せた貨物船「対馬丸」＝写真＝が鹿児島・悪石島沖で米潜水艦の魚雷攻撃で沈められました。終戦の1年前、1944年8月のことでした。那覇市などの小学生ら1482人が犠牲となりました。その惨劇から今年で70年を迎えます。



撃沈の事実が明らかになったのは戦後、しばらくしてからのことでした。厳しい情報統制が敷かれていたためです。沖縄では24万人が犠牲となった地上戦と並ぶ悲劇として語り継がれています。けれども生存者たちは年々少なくなり、その記憶も歴史の波間に消えかけようとしています。忘れてはならない——。奇跡的に助かった元教師が対馬丸で何があったのかを絵に描き続けています。いとも簡単に子どもたちが戦火の犠牲になってしまう……。改めて戦争の実相に迫ります。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

佳つ乃さんの祇園

夕刊3面「京がたり」4月2日（水）



佳つ乃さんは京都市に生まれ、16歳で祇園甲部の舞妓になり一世を風靡した京女です。お座敷では各界の名士と接し、芸能人や財界人らが名を連ねました。彼女の恋愛は週刊誌を騒がせたこともありました。京舞・井上流の名取りでもあります。今は、和風サロンを運営している佳つ乃さんは今、京都、そして祇園をどのように見ているのでしょうか。

「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん面31日（月）

おんなのしんぶん

母子家庭で育った東京都大田区の高田あやさんは、愛着ある町でタウン誌を発行しています。母が亡くなって4カ月、「女の気持ち」に投稿し



ました。母が生きた証しを残すために。

命を守る「防災面」スタート くらしナビ面4月2日（水）



巨大地震や津波、豪雨など、いつやってくるかもしれない自然災害から、どう身を守ればいいのでしょうか。「1本の記事で1人でも多くの命を救うために」をテーマに、役立つ情報を毎週水曜日にお届けします。また、同じページで「人生相談」も始まります。作家の白川道（とおる）さん、劇作家のわかぎゑふさんが毎週交代で、読者から寄せられたさまざまな悩みにお答えします。

私の好きな場所

くらしナビ面 4月5日（土）

家には、住む人の思いや人柄、人生までもがにじみ出ます。こだわりの生活スタイルをもつ著名人のお宅を訪ね、自分が大切にしているスペースを中心に住まいへの思いを聞く新企画「私の好きな場所」がスタートします（毎月第1土曜掲載）。1回目は文筆家で消費行動研究家の辰巳渚さん＝写真＝が暮らす、神奈川県茅ヶ崎市の自宅を訪ねました。

